

# 実施する取組の時点修正について

---

第3回九頭竜川・北川減災対策協議会

平成29年6月14日

九頭竜川・北川減災対策協議会

# 概ね5年で実施する取組

## 1)ハード対策の主な取組

### ■洪水を河川内で安全に流す対策

- ・江端地区、江上地区の堤防整備
- ・中藤新保地区等の堤防整備
- ・片粕地区、水取地区他河道掘削

### ■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・早期に氾濫が発生する地域等における洪水時の避難勧告等の発令判断に活用するため簡易水位計・量水標を設置し情報共有
- ・水防団等の水防活動を支援するためCCTVカメラを設置し情報共有

### ■危機管理型ハード対策

- ・天端の保護
- ・裏法尻の補強

## 2)ソフト対策の主な取組

### ①逃げ遅れをなくす的確な避難行動のための取り組み

#### ■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等

##### 【修正】避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成

- ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
- ・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善(活用訓練等の実施)
- ・上記タイムラインの作成支援

#### ■防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充

- ・「わが家の防災コンテスト」などの参加型の防災啓発活動をさらに進めるため、福井県内の小学生の参加者数(応募者数H26年度:95点⇒H27年度:178点)の増加を図り、域内全教育委員会に積極的に働きかける

##### 【修正】防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み

### ②氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化

#### ■水防体制の強化

- ・ロールプレイング方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認(タイムラインの活用も検討)
- ・市町を越えた水防訓練の検討
- ・水防資機材の備蓄等の着実な確認
- ・水防団員や消防団員の募集の強化
- ・自主防災組織の活用、強化(組織の育成や立ち上げサポート等)

### ③一刻も早く災害から復旧するための取り組み

#### ■排水活動及び施設運用、ボランティア活動等

##### の強化に関する取組

- ・九頭竜川・北川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有
- ・緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成

##### 【修正】基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練

- ・ボランティアの効率的な活動を支援するため、「福井県社会貢献活動支援ネットワーク」の活用できるよう拡充を検討

#### ■ハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大外力を対象とした浸水想定区域図の策定・公表
- ・想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表
- ・ハザードマップの更新・周知
- ・市町を越えた広域避難計画の検討
- ・災害時における逃げ遅れをなくすため、要介護者施設、避難行動要支援者と連携した避難計画の検討
- ・住民の適切な避難行動に資するため、想定最大外力を対象とした防災マップの検討

#### ■避難行動のための情報発信等

- ・避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線の普及(無線のデジタル化等)
- ・避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等
- ・防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため水位計やCCTVカメラの情報を提供(配信)
- ・住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備
- ・洪水予報文の改良と運用

#### ■水防活動支援のための情報公開、情報共有

- ・重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施(国管理区間) 【修正】

- 江端地区、江上地区の堤防整備 【H28年度：近畿地整】
- 中藤新保地区等の堤防整備 【H32年度：近畿地整】
- 片粕地区、水取地区他河道掘削 【H32年度：近畿地整】

- 天端の保護 【H32年度：近畿地整】
- 裏法尻の補強 【H32年度：近畿地整】

- 早期に氾濫が発生する地域等における洪水時の避難勧告等の発令判断に活用するため簡易水位計・量水標を設置し情報共有 【引き続き実施：近畿地整】
- 水防団等の水防活動を支援するためCCTVカメラを設置し情報共有 【引き続き実施：近畿地整、福井県】

- 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成 【H28年度:2市町】
- 関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良 【H30年度:6市町】
- 避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善(活用訓練等の実施) 【H28年度から実施:6市町】
- 上記タイムラインの作成支援 【引き続き実施:近畿地整、福井県、気象台】



- 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成 【H28年度:4市町】
- 関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良 【H30年度:6市町】
- 避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善(活用訓練等の実施) 【H28年度から実施:6市町】
- 上記タイムラインの作成支援 【引き続き実施:近畿地整、福井県、気象台】

○想定最大外力を対象とした浸水想定区域図の策定・公表

【H28年度:近畿地整 H30年度:福井県】

○想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表

【H30年度:近畿地整、福井県】

○ハザードマップの更新・周知

【H31年度:6市町】

○市町を越えた広域避難計画の検討

【H31年度:5市町】

○災害時における逃げ遅れをなくすため、要介護者施設、避難行動要支援者と連携した  
避難計画の検討

【H32年度:6市町】

- 「わが家の防災コンテスト」などの参加型の防災啓発活動をさらに進めるため、福井県内の小学生の参加者数(応募者数H26年度:95点⇒H27年度:178点)の増加を図り、域内全教育委員会に積極的に働きかける  
【引き続き実施:協議会全体】
- 防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み  
【H28年度から順次実施:協議会全体】



- 「わが家の防災コンテスト」などの参加型の防災啓発活動をさらに進めるため、福井県内の小学生の参加者数(応募者数H26年度:95点⇒H27年度:178点)の増加を図り、域内全教育委員会に積極的に働きかける  
【引き続き実施:協議会全体】
- 防災に関する補助教材を活用した小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み  
【H28年度から順次実施:協議会全体】

- 避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線の普及(無線のデジタル化等)  
【H32年度:3市町】
- 避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等  
【H32年度:5市町】
- 防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため水位計やCCTVカメラの情報を提供(配信)  
【引き続き実施:近畿地整、福井県】
- 住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備  
【引き続き実施:近畿地整】
- 洪水予報文の改良と運用  
【平成28年度:近畿地整、気象台】

- ロールプレイング方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認  
(タイムラインの活用も検討) 【H29年度から毎年実施:協議会全体】
- 市町を越えた水防訓練の検討 【H28年度より実施:協議会全体】
- 水防資機材の備蓄等の着実な確認 【引き続き毎年実施:協議会全体】
- 水防団員や消防団員の募集の強化 【引き続き実施:6市町】
- 自主防災組織の活用、強化 【引き続き実施:6市町】

- 重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施  
国管理区間:【引き続き実施:近畿地整、6市町】



- 重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施  
国管理区間:【引き続き実施:近畿地整、5市町】

- 九頭竜川・北川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有  
【引き続き実施:近畿地整、福井県】
- 緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成  
【H31年度:近畿地整】
- 基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練  
【H29年度から毎年実施:協議会全体】



- 九頭竜川・北川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有  
【引き続き実施:近畿地整、福井県】
- 緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成  
【H31年度:近畿地整】
- 基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練  
【H28年度から毎年実施:6市町、福井県】

- ボランティアの効率的な活動を支援するため、「福井県社会貢献活動支援ネットシステム」の活用できるよう拡充を検討  
【H32年度:6市町】